

第1—総合文化学習センター(仮称)がめざすもの

1

計画の背景

人々が、いきいきと積極的に取り組む学習活動は、生活や能力の向上、自己の充実を目指すもので、変化の激しい現代社会に対応するために欠くことのできないものであります。また、想像力や表現力を駆使して生み出される芸術文化は、心に刺激を与え生活を豊かにしてくれます。

総合文化学習センター（仮称）は、このような学習活動や芸術文化の重要性に鑑み、生涯学習センター、地域図書館、芸術ホールの3つの機能で構成するもので、市民一人ひとりの学習と芸術文化活動を支えるとともに、市内のいたるところに地域の特性を生かした多彩な文化活動と交流が広がることを期待して、新たな「まちなか文化の拠点施設」として整備するものです。

これまで、総合文化学習センター（仮称）の建設については、「第4次豊橋市基本構想・基本計画」「豊橋市中心市街地活性化基本計画」「豊橋市生涯学習推進計画」など、様々な行政計画の中で、その必要性が検討されてきましたが、今回の基本計画の策定に当たっては、それらの検討結果を踏まえ、その必要性と効果を再度整理することにより、施設の目標像を具体化しました。

(1) 関係する行政計画

①第4次豊橋市基本構想・基本計画

本市では、平成13年3月に第4次豊橋市基本構想・基本計画が策定されました。その中で総合文化学習センター（仮称）は、将来都市像「笑顔がつなぐ緑と人のまち・豊橋」を実現するために、特に重要性と先導性を持つリーディングプロジェクト「まちなか文化の創造」の主な事業として、新たなまちなか文化の創造を促し、幅広い世代の交流を促進するための文化・交流拠点として位置付けられています。

②豊橋市中心市街地活性化基本計画

平成12年3月に策定された豊橋市中心市街地活性化基本計画では、そのコンセプトを「とよはし文化」を発信するにぎわいの交流空間とし、その整備方針の一つとして、最新の都市文化を創造し発信する拠点の整備をうたっています。特に、中心市街地のうち総合文化学習センター（仮称）が計画されている豊橋東口駅南地区が含まれるモダン・カルチャー・ゾーンは、市民の

文化交流を支える拠点として、ホール、図書館、生涯学習施設等公共公益施設の整備を行い、「新しいとよはし」をアピールするまちづくりを推進するとしています。

まちづくりの柱

③豊橋市生涯学習推進計画

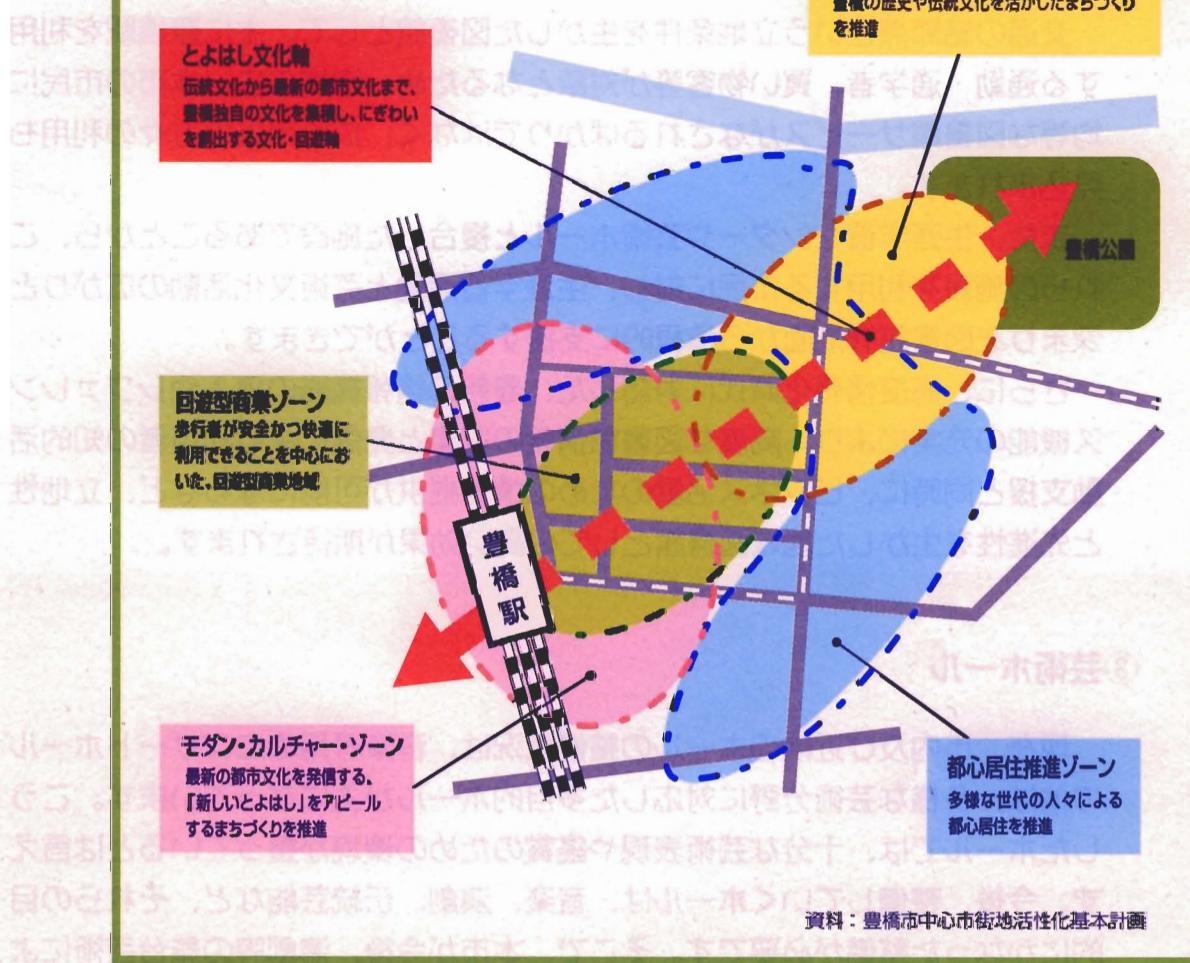
平成13年3月に策定された豊橋市生涯学習推進計画（改訂版）では、市民ニーズの調査から、市民には高度な施設水準を有する施設整備の期待が大きいとし、そのために、総合的な学習・文化発信基地として、生涯学習センター単独の整備ではなく、地域図書館や芸術文化施設との複合施設として構想計画することが望ましいとしています。

まちの

歩道化の実現

ら複合施設を

中心市街地のゾーン設定図



(2) 各施設の必要性

①生涯学習センター

現在、市内には地区市民館、校区市民館等の公共施設や大学、カルチャーセンター等の民間施設が、それぞれ市民の学習活動を支える施設として運営されています。しかし、今後、生涯学習をより一層推進していくためには、人々が学習機会をより選択できる環境の整備や、自主的な学習活動への支援、学習情報の提供、各種の生涯学習機能相互の連携などが、広く求められています。このため、こういった生涯学習推進のための機能を集約するとともに、他の施設では提供できない、高度で特色のある学習機能を持った、地域の生涯学習推進機関としてのセンターの整備が必要とされています。

②図書館

交通の結節点という立地条件を生かした図書館として、主に豊橋駅を利用する通勤・通学者、買い物客等が対象となるため、市域の広い本市の市民に均等な図書館サービスがなされるばかりではなく、広く市外の方々の利用も見込まれます。

また、生涯学習センターや芸術ホールと複合した施設であることから、これらの施設を利用する市民に対し、生涯学習活動と芸術文化活動の広がりと深まりを図書館機能面から積極的に支援することができます。

さらに、高度情報化時代に対応した、最新の情報機器の導入やレンタル機能の充実により、高度な図書館情報の収集と発信による利用者の知的活動支援と同時に、ビジネス活動のための情報提供が可能になるなど、立地性と先進性を生かした地域図書館としての高い効果が期待されます。

③芸術ホール

現在、市内及び近隣のホールの整備状況は、音楽専用のコンサートホールの他は、多様な芸術分野に対応した多目的ホールが主になっています。こうしたホールでは、十分な芸術表現や鑑賞のための環境が整っているとは言えず、今後、整備していくホールは、音楽、演劇、伝統芸能など、それらの目的にかなった整備が必要です。そこで、本市が今後、演劇等の舞台芸術によ

り、地域文化の創造や人づくり、まちづくりを推進しようとするとき、優れた舞台芸術を鑑賞・上演できるホール、舞台と客席が一体感を持てるホールの整備は、極めて重要なことであります。また、このようなホールは、豊橋の顔として全国に発信できる新しい芸術文化の創造・発信拠点として、国内だけでなく、国際的な文化交流をも実現できる施設として期待されます。

すべての言葉をかぶ
ぶの豊橋の言葉
語あそびの豊橋

へ云ふ、豊橋は、すべての言葉を主
費はやかの会は、豊橋市（北）（西）
はねだてまち、伊那市（東）（南）
らき野本基（中）ものだ、うじよ（西）

総合文化学習センター（仮称）

市民一人ひとりの学習と芸術文化活動を支援
地域の特性を生かした多彩な文化活動と交流の促進

生涯学習センター

生涯学習推進のための機能の集約
高度で特色のある生涯学習機能
学習活動の支援、学習情報の提供

図書館

高度な図書館情報の収集と発信
立地性と先進性を生かした地域図書館
生涯学習・芸術文化活動の支援

芸術ホール

優れた舞台芸術を鑑賞・上演
舞台と客席が一体感を持てるホール
芸術文化の創造・発信拠点